

【展示物名】 土星の模型（2階）

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

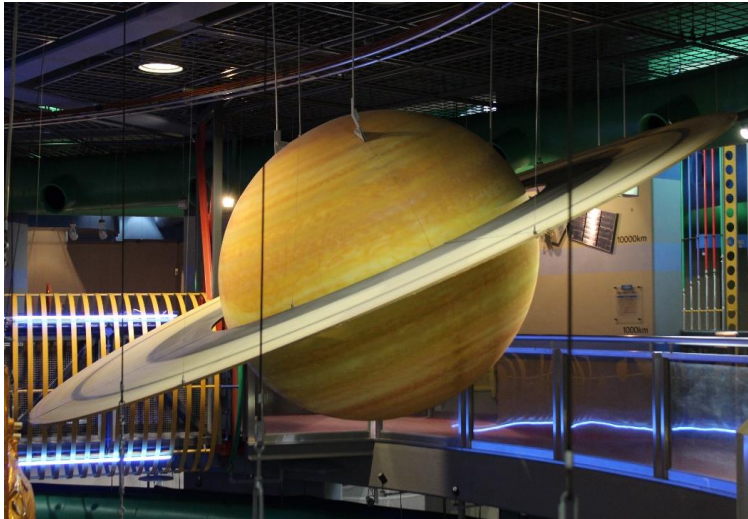
☆ 土星は、太陽系6番目の惑星であり木星の次に大きい。プラネタリウムドーム（外径約30m）を太陽の大きさとした場合と比較して、展示してある土星の大きさ（直径約3m）が決められている。夜空には多くの天体があるが、環を持つ土星はスターウォッチング教室等でも非常に人気のある天体である。

☆ 小学校4年「月と星」で学習する星空の観察において、夜空に輝く無数の星に対する豊かな心情と天体に対する興味・関心を高めることにつながる。

☆ 小学校6年「月と太陽」の学習後、月から火星へと広がる宇宙探査の話やISS（国際宇宙ステーション）の紹介をする等して、宇宙や天体についての興味・関心を喚起し、児童が太陽系の天体や宇宙について、意欲的に調べる内容を広げることができる。

☆ 中学校3年「地球と宇宙」で取り上げる惑星の特徴である「大きさ」、「質量」、「平均密度」、「大気組成」、「表面温度」、「衛星の存在」等を紹介しており、「土星」の展示解説に明記されている内容を基にして、他の惑星への関心を高めることができる。

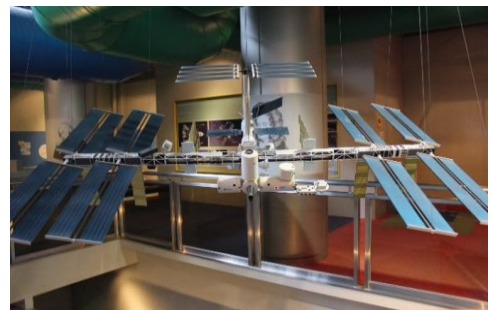
【写真】



【2階展示室にある土星の模型】



【火星基地の様子】



【ISS(国際宇宙ステーション)】

【学習指導要領】

エネルギー

粒子

生命

地球

<小学校4年>B-(5)-ア 月と星

実際に月や星を観察する機会を多くもつようにし、豊かな心情と天体に対する興味・関心をもつようにする。

<小学校6年>B-(5)-ア 月と太陽

児童の天体に対する興味・関心を高め、理解を深めるためにも移動教室などの学習の機会を生かす。

<中学校3年>2分野(6)-ア-(イ)-① 地球と宇宙

観測資料などを基に、惑星と恒星などの特徴を見いだして理解するとともに、太陽系の構造について理解する。